



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ホープ
コード番号 6195 URL <https://www.zaigenkakuho.com/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 時津 孝康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 大島 研介

TEL 092-716-1404

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,087	15.0	161	14.7	163	13.3	236	66.1
2024年3月期第3四半期	1,814	9.7	189	26.2	188	24.9	142	97.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 236百万円 (66.1%) 2024年3月期第3四半期 142百万円 (97.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	14.64	14.64
2024年3月期第3四半期	8.66	8.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,841	1,086	58.9
2024年3月期	1,984	1,003	50.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,085百万円 2024年3月期 999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,021	18.3	282	23.8	283	24.2	328	25.5	20.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	16,465,800 株	2024年3月期	16,458,800 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	724,406 株	2024年3月期	24,991 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	16,144,914 株	2024年3月期3Q	16,429,685 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
- ・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善しており、個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移していることから、緩やかに回復しています。その一方で、世界経済の先行き等を巡る不確実性は高く、今後の為替相場の変動に伴う輸入物価や国内価格への波及は経済の見通しに重要な影響を与える可能性があります。また、ウクライナや中東等での紛争や中国経済の低迷など、各国の政治情勢が及ぼす影響については今後も十分に注意をする必要があります。

このような状況下において、グループ全体での事業規模の拡大を推進するとともに、事業運営におけるリスク管理体制の一層の強化を図るなどの取り組みを推進することで、グループ企業理念の実現及び企業価値の向上に努めております。

当社は、2024年5月15日付で、当連結会計年度を初年度とする3か年の中期経営計画を策定・公表しており、適切な資源配分によるオーガニック成長の実現、堅実な投資による事業価値の創出、リスクマネジメント機能の強化、資本配分方針/財務の規律付け、攻守兼ね備えた強固なミドル層の構築に積極的に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては上述の中期経営計画で公表した財務方針に従い、自己株式取得を実行するなど資本生産性の改善・向上と経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行に努めております。

広告事業におきましては、1人当たりの生産性を可能な限り維持しながら、利益創出事業として安定拡大を目指しております。

ジチタイワークス事業におきましては、官公需が大きく、市場の開拓余地は十分に存在することから、行政マガジン『ジチタイワークス』のブランド力を強化することで、B to Gソリューション等の拡大による収益の追求、また多面的展開の促進による高付加価値なサービスの拡大に繋げております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,087,385千円（前年同四半期比15.0%増）、営業利益は161,365千円（前年同四半期比14.7%減）、経常利益は163,531千円（前年同四半期比13.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は236,428千円（前年同四半期比66.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 広告事業

広告事業においては、自治体から様々な媒体の広告枠を入札により仕入れ、民間企業に販売するSR (SMART RESOURCE) サービス、また、自治体から住民へ専門性が高い情報をよりわかりやすく確実に伝える情報冊子マチレットを自治体と協働発行（無料）し、自治体の経費削減を支援するSC (SMART CREATION) サービス等を提供しており、前連結会計年度までの収益性改善を目的とした事業規模の適正化を踏まえて、計画的な再拡大を推進してまいりました。当社グループの主要媒体であるマチレットは現在、子育て・空き家・エンディングノート・おくやみ・マイナンバーガイドブック、などのテーマを主として全国展開しております。

なお、セグメント利益の減少における主な要因は、事業規模の再拡大に向けた人員増に伴う人件費の増加に加え、前連結会計年度に比べ、一部の収益が第4四半期以降に時期ズレする見込みによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,217,120千円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益は191,401千円（前年同四半期比11.0%減）となりました。

② ジチタイワークス事業

ジチタイワークスは、当社グループの官民連携を推進する様々なサービスを総称するブランドの名称とし、「自治体で働く“コトとヒト”を元気に。」をコンセプトにサービスを展開しております。

2017年12月より発行してきた、当社グループオリジナルのメディアとして、自治体職員の仕事につながるヒントやアイデア、事例などを紹介する行政マガジン『ジチタイワークス』を発行しています。また、当社グループが今まで培った自治体とのリレーションを活用した、自治体と民間企業のニーズを繋ぐB to Gソリューション等の積極的な展開も推進しており、自治体向けに事業を展開したい民間企業に対して、幅広いマーケティング支援の提案も行っております。

なお、セグメント利益の減少における主な要因は、花形事業として更なる将来成長を企図した人的投資等の増加であります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は749,423千円（前年同四半期比27.4%増）、セグメント利益は239,905千円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

③ その他

その他には、企業版ふるさと納税支援事業や空き家対策関連事業akisol（アキソル）及びマチイロなど他の報告セグメントに含まれないサービスが含まれております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は120,842千円（前年同四半期比67.0%増）、セグメント損失は5,370千円（前年同四半期はセグメント損失7,926千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は1,841,599千円となり、前連結会計年度末に比べて142,876千円減少しました。流動資産は1,621,796千円となり、前連結会計年度末に比べて153,974千円減少しました。これは主として現金及び預金が63,640千円減少、売掛金及び契約資産が46,267千円減少、商品及び製品が39,283千円減少したことによるものであります。固定資産は219,802千円となり、前連結会計年度末に比べて11,098千円増加しました。これは主として有形固定資産が8,539千円増加、投資その他の資産のその他が6,652千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は755,411千円となり、前連結会計年度末に比べて225,899千円減少しました。流動負債は755,411千円となり、前連結会計年度末に比べて225,899千円減少しました。これは主として1年内返済予定の長期借入金が99,593千円減少、流動負債のその他が153,696千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は1,086,188千円となり、前連結会計年度末から83,023千円増加しました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が236,428千円増加したものの、自己株式の取得により自己株式が153,089千円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の50.4%から58.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年10月31日付「投資有価証券の売却及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,023,202	959,562
売掛金及び契約資産	360,910	314,643
商品及び製品	317,033	277,750
仕掛品	8,939	13,433
貯蔵品	204	170
その他	67,095	57,984
貸倒引当金	△1,615	△1,746
流動資産合計	1,775,771	1,621,796
固定資産		
有形固定資産	23,912	32,451
無形固定資産	9,881	7,027
投資その他の資産		
その他	185,117	191,769
貸倒引当金	△10,207	△11,446
投資その他の資産合計	174,910	180,323
固定資産合計	208,704	219,802
資産合計	1,984,476	1,841,599
負債の部		
流動負債		
買掛金	369,708	344,966
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	99,593	—
未払法人税等	39,700	24,002
契約負債	21,505	52,485
賞与引当金	—	36,850
その他	350,803	197,107
流動負債合計	981,311	755,411
負債合計	981,311	755,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,718	11,812
資本剰余金	796,050	797,144
利益剰余金	263,863	500,291
自己株式	△70,904	△223,994
株主資本合計	999,727	1,085,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	50
その他の包括利益累計額合計	160	50
新株予約権	3,276	884
純資産合計	1,003,164	1,086,188
負債純資産合計	1,984,476	1,841,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,814,418	2,087,385
売上原価	829,840	912,846
売上総利益	984,577	1,174,539
販売費及び一般管理費	795,463	1,013,174
営業利益	189,114	161,365
営業外収益		
受取利息	10	76
受取配当金	—	12
違約金収入	1,373	3,069
その他	995	1,105
営業外収益合計	2,379	4,264
営業外費用		
支払利息	1,497	325
支払手数料	1,009	1,591
その他	448	180
営業外費用合計	2,955	2,097
経常利益	188,537	163,531
特別利益		
投資有価証券売却益	—	113,778
特別利益合計	—	113,778
税金等調整前四半期純利益	188,537	277,309
法人税、住民税及び事業税	62,821	47,348
法人税等調整額	△16,623	△6,467
法人税等合計	46,198	40,881
四半期純利益	142,338	236,428
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,338	236,428

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	142,338	236,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104	△110
その他の包括利益合計	△104	△110
四半期包括利益	142,234	236,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,234	236,318
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式699,400株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が153,087千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が223,994千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	13,009千円	16,561千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、広告事業及びジチタイワークス事業を主要事業と位置づけており、これらを基礎としたサービス別のセグメントである「広告事業」及び「ジチタイワークス事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は、次のとおりであります。

報告セグメント	サービス名称及び内容等
広告事業	(SMART RESOURCE サービス) 広報紙広告・バナー広告等
	(SMART CREATION サービス) マチレット
ジチタイワークス事業	ジチタイワークス、B toGソリューション

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	広告	ジチタイ ワークス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,154,049	588,024	1,742,074	72,344	1,814,418	—	1,814,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,477	5,477	950	6,427	△6,427	—
計	1,154,049	593,502	1,747,552	73,294	1,820,846	△6,427	1,814,418
セグメント利益又は損 失(△)	215,048	212,165	427,214	△7,926	419,287	△230,173	189,114

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に企業版ふるさと納税支援事業やakisol及びマチイロなどのサービスを含んでおります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△6,427千円はセグメント間取引消去であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△230,173千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用230,173千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	広告	ジチタイ ワークス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,217,120	749,423	1,966,543	120,842	2,087,385	—	2,087,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,900	5,900	2,012	7,912	△7,912	—
計	1,217,120	755,323	1,972,443	122,854	2,095,298	△7,912	2,087,385
セグメント利益又は損 失(△)	191,401	239,905	431,306	△5,370	425,936	△264,570	161,365

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に企業版ふるさと納税支援事業やakiso1及びマチイロなどのサービスを含んでおります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△7,912千円はセグメント間取引消去であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△264,570千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用264,570千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

（自己株式の取得）

当社は、2024年6月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得を決議し、下記のとおり実施しました。

1. 取得した株式の種類	当社普通株式
2. 取得した期間	2025年1月1日～2025年1月31日
3. 取得した株式の総数	94,900株
4. 株式の取得価額の総額	19,157,000円

（ご参考）

1. 2024年6月14日開催の取締役会における決議内容	
（1）取得対象株式の種類	当社普通株式
（2）取得し得る株式の総数	1,450,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 8.82%）
（3）株式の取得価額の総額	261百万円（上限）
（4）取得方法	東京証券取引所における市場買付
（5）取得期間	2024年6月17日から2025年6月16日まで
2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計（2025年1月31日現在）	
（1）取得した株式の総数	794,300株
（2）株式の取得価額の総額	172,244,000円